

2012年4月1日から2018年3月31日の間に耕運機で怪我をし
本院に岡山ドクターヘリで搬送された患者さんへ

課題名「ドクターヘリで出動した耕運機外傷の臨床疫学的研究」

1. 研究の対象

2012年4月1日から2018年3月31日の間に耕運機で怪我をし本院に岡山ドクターヘリで搬送された患者さんが対象です。

2. 研究目的・方法

研究目的：当院は日本で最初にドクターヘリが運航開始され、岡山県内だけでなく中国、四国地方の救急医療に長く貢献しています。山間部、農村を抱える岡山県では農機具で怪我をする患者さんが多く、特に耕運機では耕運機の刃が刺さったままになり、救助救出が困難になることが多いです。そのためドクターヘリが要請され、現場で医師が治療介入することで救出が可能となることがあります。今回、耕運機で怪我をした患者さんの疫学的特徴を明らかにすることを目的としています。

方法：ドクターヘリの搬送記録、救急隊の搬送記録、診療録の情報から患者さんの受傷機転、病院収容までの経過（患者と医師の接触場所、患者と医師の接触場所までの移動方法、処置開始までに要した時間、現場での処置時間、現場での処置内容、医師接触から搬送開始までの時間、搬送方法）、病名、転帰などを調べ、その特徴を検討します。

研究期間：倫理委員会承認日 ～ 西暦2021年9月30日

3. 研究に用いる試料・情報について

利用するカルテ情報には、以下のものが含まれます。

受傷機転、病院収容までの経過（患者と医師の接触場所、患者と医師の接触場所までの移動方法、処置開始までに要した時間、現場での処置時間、現場での処置内容、医師接触から搬送開始までの時間、搬送方法）、病名、転帰、等

本研究は、治療介入を伴わない既存資料のみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接特定されうる情報は匿名化を行った後に解析致します。研究成果は論文などの発表から5年後に破棄致します。

4. 利益相反

研究に必要な資金をスポンサー(製薬会社等)から提供してもらうことにより、その結果の判断にひずみが生じかねないことを利益相反状態といいます。本研究は研究責任者の教員研究費で行われるため、このような状態になることはありません。また患者さんに新たな費用負担、および謝礼はございません。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岡山県倉敷市松島 577 電話 086-462-1111

FAX 086-464-1044

E-mail:j.takahashi@med.kawasaki-m.ac.jp

川崎医科大学 救急医学 高橋 治郎（研究責任者）